

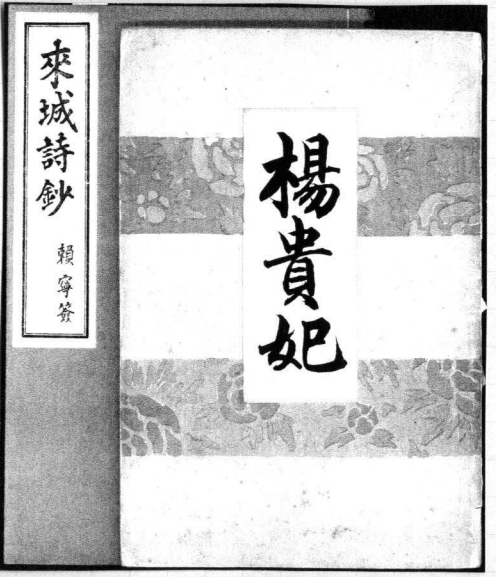
宮崎來城 みやざき くるき 漢詩人。明治四年十一月六日福岡縣久留米生れ、昭和八年七月二十六日歿（二七七一—一九三三）。本名繁吉、繁と修介、字子寔。別號乃公、來城小隱、天邊子、柳溪等。少時父母を亡くす。獨學漢詩又心長じた。上京して諸家（父は）、おのこ臺灣、支那を歴訪數度。中五郷に歸り、のち福岡高等學校の教鞭を執りた。評心へ九州一の漢詩人（阪井久良伎）、へ來城天下詩人。非九州詩人也。✓（國分青彦）。

著書『楊貴妃』（明治二十二年十一月一日大學館）、『蒙傑の臨終』（明治二十二年五月二十一日大學館『蒙傑叢談』）、『蒙傑の少時』（明治二十二年九月六日大學館『蒙傑叢談』）、『蒙傑の稚童』（明治二十二年十一月二十七日大學館『蒙傑叢談』）、『西施』（明治二十四年四月一日大學館『國色史叢』）、『續多情の蒙傑』（明治二十四年十月六日大學館『蒙傑叢談』）、『大臣學校』（明治二十六年一月一日大學館『書生一代記』）、『漢詩自在作詩術』（明治二十六年七月一日大學館）、『書生膝栗毛』（明治二十六年八月一日大學館）、『名流苦學談』（明治二十七年一月二十一日大學館）、『來城詩鈔』全四冊（内題『宮崎來城詩鈔』宮崎

來城漢稿刊行會編、昭和九年五月十五日福岡刊）等。



來城漢稿刊行會編、昭和九年五月十五日福岡刊）等。



來城詩鈔 賴寧發